

総合地球環境学研究所と西条市が 交流協定を締結しました

このたび総合地球環境学研究所（京都市所在）と西条市との間で交流協定を締結することとなり、8月3日に同研究所の立本成文所長ほか関係者のご出席のもと、市役所で調印式を執り行いました。

総合地球環境学研究所は、環境、文化、産業など幅広い分野で活躍する多数の研究者を有しています。

市では「水資源」「環境」

などの行政施策の推進に当たり、かねてより同研究所からも多大な協力を得ており、現在も担当部局間の交流が続いています。

特に平成19年から市が取り組んでいる地下水資源調査・解析事業においてご指導をいただいております。当地域の貴重な財産である地下水を将来にわたり保全していくために、同研究所の知見を十分に活用

させていただきます。今回の協定は、これまでの交流実績を基盤として、さらに幅広い分野での連携活動を推進しようとして締結したものです。

現地視察を実施

立本所長をはじめ研究所関係者の方々に西条市の地域資源をご理解いただくため、調印式終了後、翌日にかけて、アクアトピア水系をはじめとした市内各所のうちぬき、石鎚ふれあいの里、鉄道歴史パーク in S A I J O、丹原地域の柿園などを視察していただきました。

今回の現地視察も踏まえ、西条市がめざす「快適環境実感都市」の実現に向けた様々な取り組みが、同研究所との連携・協力によって実施されていくことが期待されます。

これからの連携活動

今回の協定締結を契機に、協定で謳われている「総合地球環境学研究所における地球環境研究の充実」と「西条市における地域活性化」の両面で、相互に多大なプラス効果が現れるよう、さらなる多様な分野の連携活動を積極的に推進していきます。



▲調印後、握手を交わす立本成文所長と伊藤市長



▲調印式に出席された研究所関係者の方々



▲アクアトピア水系の視察（総合文化会館横の水飲み場にて）

協定締結を記念して図書寄贈 地球環境問題の解決に向けた図書74冊

協定締結を記念して、総合地球環境学研究所から図書74冊が西条市に寄贈されました。これらの図書は同研究所の方々が執筆されたもので、水資源の枯渇、生物多様性の喪失、地球温暖化など、地球環境問題の解決に向けた同研究所の研究成果が分かりやすく紹介されています。

寄贈いただいた図書は、西条図書館と東予図書館で閲覧できます。

